

# おぐに 支所からの お知らせ



発行・編集: 小国支所地域振興課 TEL0258-95-5905 FAX0258-95-2282 Email ogn-chiiki@city.nagaoka.lg.jp



第 21 回おぐに雪まつり・雪ほたる 平成 23 年 2 月 26～27 日

## 新入学(園)児を守る交通安全週間

4月4日(月)から10日(日)までは、新たな交通安全週間として「新入学(園)児を守る交通安全週間」が展開されます。以下のことを実践し、慣れない通学(園)路を通い始める新入学(園)児を交通事故から守りましょう。

- ・ **運転者は安全で思いやりのある運転を心がけ、子どもを交通事故から守りましょう。**
- ・ **子どもと一緒に通学(園)路を歩き、安全な歩き方、正しい道路の横断、信号機の意味と見方について、分かりやすく教えましょう。**
- ・ **保護者自らが交通ルール、マナーを守り、子どもに手本を示しましょう。**

問 小国支所地域振興課 地域振興・防災係 電話 95-5905

4月10日(日)は県議会議員選挙の投票日です

**投票所入場券は4月1日(金)までにはがきでお届けします**

はがき1枚に6人分まで印刷されています。届かないときは選挙管理委員会までご連絡ください。投票の際は、それぞれの分を切り取って投票所にお持ちください。



**投票できる人**

次の①と②の条件に当てはまる人が、選挙人名簿に登録され投票することができます。

- ①平成3年4月11日以前に生まれた人
- ②平成22年12月31日までに長岡市の住民基本台帳に記載されている人

**投票時間は午前7時から午後7時まで**

投票所と投票時間は、投票所入場券に記載してあります。小国地域の投票所は投票終了時刻の繰り上げにより午後7時までとなります。お確かめの上、お出かけください。

**投票日に投票所へ行けない人は、期日前投票ができます**

投票日に次のいずれかに該当すると見込まれる人は、期日前投票ができます。

- ①仕事や冠婚葬祭などの用務がある人
- ②旅行、レジャー、買い物など何らかの用で投票区域外にいる人
- ③治療、出産などのため、歩行や外出が困難になると予測される人

※ 商用、出稼ぎなどにより市外に滞在している人は、滞在先の市区町村役場で不在者投票ができます。詳しくはお早めにお問い合わせください。

**期日前投票は4月2日(土)～4月9日(土)の午前8時30分から午後8時まで**

期日前投票には投票所入場券をお持ちください。投票日間近は大変混雑が予想されます。お早めに投票をお済ませください。

期日前投票会場は、長岡市役所本庁やながおか市民センターのほか各支所に設けてあります。期日前投票は、どの会場でも投票することができます。

問 選挙管理委員会 電話 39-2241  
小国支所地域振興課 電話 95-5905

平成 22 年度 小国地域委員会 開催報告

長岡市では、合併の不安感を解消するとともに、いずれは「ひとつの長岡市」になるための住民自治の実現に向け、地域住民と行政とが一体となってまちづくりを推進するため、まちづくりの検討や各種計画への策定協議を行う市長の付属機関として地域委員会を設置しています。

地域委員会の役割



★地域のまちづくりについて考える

- ・住民主体のまちづくりを進めていくには、どうすべきか。
- ・全市的な視点でまちづくりを議論するには、どうすべきか。

★地域のまちづくりについて意見を述べる

- ・各種計画策定などに関すること
- ・制度調整、地域固有業務などに関すること

小国地域委員会では、定例の地域委員会のほかに、より議論を深めるため、地域委員会内に2つの分科会を設けて、小国地域の課題やまちづくりについて検討を重ねています。

「おぐに支所からのお知らせ6、7月号」で中間報告を行いました。今回はその後の活動について報告します。

第1分科会「これからの福祉と医療について」最終報告

地域委員会第1分科会では、H21年度は主に「地域医療」を、そして今年度は「地域福祉」に視点をおいて研修と検討を進めてきました。

【H21年度】

具体的には、「小国地域の医療関係機関の変遷」を検証し、金子診療所長のお話を聞き、今後とも現状の医療環境を維持していくことが大きな課題と認識しました。(H22年6月に中間報告済み)

【H22年度】

2年次では、地域内の特別養護老人ホームおぐしの里の視察や介護サービスの説明を受け、特に社会福祉法人小越会が計画している施設整備について、増床は当面「こしじの里」に集約していく過程の詳細な説明を受けて理解することになりました。また、地域委員としての存在感やその活動を一般住民へ見えるようにと「シンポジウム開催」の企画に取り組みました。

【分科会の開催経過】

第1回	H22. 5. 11	・福祉施設の必要性や特別養護老人ホームの増床などを話し合う
第2回	H22. 7. 8	・小国地域の人口・世帯数（過去10年）などを資料により意見交換
第3回	H22. 7. 23	・特別養護老人ホームおぐしの里の視察と園長からサービス概要を聞く
第4回	H22. 10. 14	・診療所と併設するおぐしの里の優位性を考慮しての期待について
第5回	H22. 11. 8	・社会福祉法人「小越会」の施設増床に関する要望について検討 ・第1分科会の企画事業（案）について検討
*役員	H22. 11. 25	・（福）小越会の増床計画について、おぐしの里園長から説明を受ける
第6回	H23. 1. 6	・経過報告として、（福）小越会の施設増床計画について理解する ・ふるさと創生基金事業の第1分科会企画事業（案）の決定
*役員	H23. 2. 16	・「これからの医療と福祉を考えるシンポジウム」開催部会設置の承認

【まとめ】

- ①小国地域の住民が住み慣れた地域に必要な医療を受けながら安心して生活していくためには、医療関係者だけでなく、住民一人ひとりが医療の一方の担い手であることを認識し、地域の医療を支えていくことが求められています。
- ②第1分科会では、2カ年を通じて検討を行った結果として、地域の医療や福祉のこれまでの変遷や現状を地域住民に理解を促すためシンポジウムを企画します。
- ③シンポジウムでは、「一人ひとりの住民が地域の医療を支えていく」という視点から、住民ができることは何か、参加者とともに考える機会とします。

**「これからの医療と福祉を考えるシンポジウム」を**

**平成23年7月3日(日) 小国会館で開催します。**

**第2分科会「道の駅や特産品生産体制の整備について」最終報告**

地域委員会第2分科会では、地域の活性化を図るため、販売体制、生産体制を整備し、地域内の人、組織、資源を最大限活用して、元気な小国地域を再構築することをテーマに進めてきました。

**1 先進地事例の検証**

先進地の見学から得た「地域の人材の協力体制」、「地元の山野草等の資源の活用」等の経営哲学は、その地域独特のものもあり、そのまま小国地域で活かさないものもあります。しかし、ワラビ園や荒地を活かしたそばの栽培は遊休農地の有効活用の面で大いに参考になりました。会員を募集してイベントを開催し、販売促進につなげていることも、地域活性化のヒントになります。

また、先進地事例になかった「買い物に困っている方々に対する施策」や「公共交通体系の整備」も過疎化地域の重要な課題です。

特産品の生産体系の整備は、地域の収入源を確保し、元気になる源です。先進地事例を活用しながら、小国を元気にする方策を作ることが重要と考えます。

**2 地域の各種組織の協働関係**

地域の組織が拮抗しては、相乗効果は生まれません。持てる情報、持てる特技を活かしながら協働することが、地域活性化の最大課題です。野菜や棚田米等の特産品を育て上げ、新鮮で特色のある商品を提供できる販売体制を構築すれば、地域の収入源を確保することに繋がります。

**3 生産者との提携について**

直売所が開設されたとしても、多くの生産者が特色のある野菜や商品を提供してくれなければ、販売実績は上がりません。成功している直売所は、ネギ1品種についても、長さや色、かおり等で20種類も出品があります。商品の集中を避け、多品種少量生産で生産者のリスクを分散して安定販売が達成できると考えます。

**4 生産記録、安全管理の徹底を**

現代は消費者が安心して購入できる農作物でないと信用が確保できません。販売を促進させて厳しい競争社会に生き残るためには、生産の記録を行い、安全管理を徹底することが大前提です。

**5 まとめ**

2年間に亘って検討をしてきた経過を、最終報告という形で提案させていただきましたが、それらを実現するために小国地域の総力の結集が必要不可欠であると考えます。地元民間企業の起業により、元気な小国地域を再構築するという目的を持った体制の整備は、現実味を帯びてきました。

これからも地域住民の皆様のご理解とご協力を切にお願いして報告とさせていただきます。

## ◆第1回地域委員会 平成22年5月11日(火)

### 【議題】

- ・平成22年度長岡市地域コミュニティ事業について  
補助金申請者である農村コミュニティカフェを推進する会によるプレゼンテーションが行われました。小国地域他団体との協力方法や東京方面での活動方針について質疑応答が行われました。審査の結果、補助対象団体として承認しました。

### 【報告】

- ・平成22年度当初予算の概要について  
担い手育成事業やおぐに森林公園の老朽化施設について質疑応答が行われました。
- ・小国地域総合センター(仮称)について
- ・上下水道・消雪パイプ制度の統一について  
「地域格差を考慮してほしい」など様々な意見、要望が出されました。

### 【その他】

- ・下小国小学校通学路付近の倒木除去作業の経緯について、委員から報告と提言がありました。

## ◆女性地域委員会交流会

平成22年7月2日(金) 会場：和島地域

女性地域委員20名が参加し、「はちすば通り」「住雲園」等を視察し、女性ならではの視点による意見交換を行い、懇親を深めました。

## ◆第2回地域委員会 平成22年7月8日(木)

### 【議題】

- ・長岡市ふるさと創生基金事業について  
事務局から分科会活動の協議事項も事業提案できるように改正案の提示が行われました。審議の結果、全員賛成だったため、今後はこの方針で進めることになりました。

- ・小国地域のまちづくりについて(分科会)

### 【報告】

- ・小国地域総合センター(仮称)整備検討委員会について  
健康づくりルームの機能や将来的なコミセンとの関連について質疑応答が行われました。
- ・小国地域をめぐる交流・体験ツアーについて
- ・その他  
制度調整の消雪パイプ電気料負担について委員長が6月議会の報告を求め、地域振興戦略部から説明がありました。

## ◆地域委員会合同分科会 平成22年10月14日(木)

### 【議題】

- ・小国地域のまちづくりについて(分科会・経過報告)  
分科会での協議の後に全体会を行い、各分科会長が経過報告を行いました。

### 【報告】

- ・小国地域総合センター(仮称)の検討経過について
- ・消雪パイプ制度統一について
- ・生活交通検討状況について
- ・地域コミュニティ検討委員会について
- ・小国地域をめぐる交流体験ツアーについて
- ・ケーブルテレビ地デジデータ放送について

## ◆第3回地域委員会 平成22年11月8日(月)

### 【議題】

- ・長岡方式の地域自治について  
市町村合併に関する地域委員アンケートの結果や住民主体のまちづくり等について地域振興戦略部から説明が行われ、今後の地域委員会について意見交換を行いました。

### 【報告】

- ・「長岡市過疎地域自立促進計画(素案)」について  
過疎債の考え方や効果的な活用方法について質疑応答が行われました。

### 【その他】

- ・猛暑等による被害農家に対し資金繰りを支援する融資制度について
- ・消雪パイプ電気料の制度調整の進捗状況について  
制度調整の基本的な考え方や実施時期について質疑応答が行われました。

## ◆小国・与板・栃尾地域委員会交流会

平成22年11月19日(金) 会場：小国地域

3地域の委員が小国に集合し、活動報告と研修会の後に「山口庭園」「(有)小国和紙生産組合」を視察し、交流を深めました。



◆第 4 回地域委員会 平成 23 年 1 月 6 日（木）

【議題】

- ・平成 23 年度ふるさと創生基金事業の決定について

提案事業

- ①（仮）小国地域のこれからの医療と福祉を考えるシンポジウム ～一人ひとりの住民が支えていく小国地域を目指して～（第 1 分科会提案）
- ②小国芸術村特別展「紙の使い手」小川原めぐみ作品展
- ③小国の魅力発信事業

提案事業について、昨年の芸術村オープニングイベント入場者数やシンポジウムのタイトルについて質疑応答が行われました。審議の結果、原案どおり承認しました。

【報告】

- ・平成 21 年度小国支所決算の概要について  
法末自然の家管理運営費や 1 集落 1 事業について質疑応答が行われました。
  - ・地域委員の改選について
  - ・制度調整について  
料金設定の基準や方法について質疑応答が行われました。
  - ・小国地域総合センター（仮称）の検討状況について
- 【その他】
- ・小国青少年の家の用途変更について
  - ・おぐに運動公園スキー場ロープトゥ運行休止について
  - ・エンジン01文化戦略会議について
  - ・おぐに雪まつり・雪上エンデューロ大会について

◆平成 22 年度長岡市地域委員会全体会議

平成 23 年 3 月 9 日（水）会場：長岡ベルナール

長岡市全地域の委員が集合し、平成 22 年度地域コミュニティ事業活動団体による活動報告と各地域委員会の 2 年間の活動報告を行いました。また、今後の地域委員会のあり方や地域間の様々な問題について意見交換を行い、懇親を深めました。



ふるさと創生基金事業

地域委員会では、地域の団体等が行う地域の振興や新市の一体感醸成を図るための事業について審議し、決定します。

◎平成 22 年度事業

- ・小国芸術村特別展「衣人紙舞台」体験・交流事業
- ・小国の魅力発信事業



地域コミュニティ事業補助金

地域委員会では、様々なコミュニティ関係団体が、地域の活性化を図ることを目的に、自ら考え、自ら具体化していくまちづくり事業について審議し、助成する団体を決定します。

◎平成 22 年度事業

農村コミュニティカフェ事業

（農村コミュニティカフェを推進する会）



★平成 23 年度の募集について

募集期間は 4 月 1 日（金）～ 5 月 6 日（金）で、補助金額は対象経費の 80% 以内（上限 50 万円）です。来年度から、事業の補助は単年度ですが、継続的な事業（例：実現するまでに 2 年かかる取組み など）も対象になります。

詳しくは下記の問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

問 小国支所地域振興課 地域振興・防災係

電話 95-5905

## 小国地区体育協会から表彰！！

小国地区体育協会では、平成 22 年度体育競技において優秀な成績を収めた方々に対して、下記のとおり表彰いたしました。

おめでとうございます。今後も「小国地域のスポーツ振興」を図るため、競技者としてご活躍されることを期待します。



小国中学校受賞者のみなさん

### ■ 優秀競技者章

湯本大貴さん（小国中学校 3 年生）

第 58 回新潟県中学校総合体育大会陸上競技大会 3000m（共通男子）第 5 位（9 分 35 秒 87）

### ■ 体育奨励賞（競技名・成績は略）

野田尚希さん（小国中学校 3 年生）

高橋樹菜さん（小国中学校 2 年生）

高橋良樹さん（小国中学校 3 年生）

中村省吾さん（渋海小学校 6 年生）

町田将大さん（小国中学校 3 年生）

青柳将義さん（渋海小学校 6 年生）

山崎亮太さん（小国中学校 3 年生）

種部 廉さん（渋海小学校 6 年生）

池原雅晴さん（小国中学校 3 年生）

樋口雄斗さん（渋海小学校 6 年生）

野田和希さん（小国中学校 1 年生）

山崎佑花子さん（渋海小学校 6 年生）

山崎倫生さん（小国中学校 2 年生）

竹部遥己さん（渋海小学校 5 年生）

専門の相談員が無料で相談に応じます

社団法人日本損害保険協会が設置する「自動車保険請求相談センター」では、交通事故にあわれた方のご相談に専門の相談員が、無料で応じています。

詳しい資料は、小国支所地域振興課の窓口に設置してあります。

問新潟自動車保険請求相談センター 電話025-228-8233

くらしのカレンダー

3月			
日	曜日	行事等	小国診療所
18	金		診療
19	土	みんなの体験館 ファンタジックな花の絵	午前診療
20	日		診療
21	月・祝	春分の日	休診
22	火		休診
23	水		診療
24	木	小学校卒業式	診療
25	金		診療
26	土	おぐに春の山野草展	休診
27	日	おぐに春の山野草展	休診
28	月		診療
29	火	ひまわり保育園卒園式	診療
30	水		診療
31	木		診療

4月			
日	曜日	行事等	小国診療所
1	金		診療
2	土		午前診療
3	日		休診
4	月		診療
5	火	ひまわり保育園入園式	診療
6	水		診療
7	木	小学校・中学校入学式 みんなの体験館 折り紙アート	診療
8	金		診療
9	土		休診
10	日	新潟県議会議員一般選挙投票日	休診
11	月		診療
12	火		診療
13	水	みんなの体験館 かんたん生八橋	診療
14	木		診療
15	金		診療
16	土		午前診療
17	日		診療

※ みんなの体験館は通常午前9時30分からですが、午後と表示されているものに限り午後1時30分から始まります。人数制限、体験料等は「みんなの体験館」(電話95-3161)までお問合せください。

小国地域の人口(平成23年3月1日現在)

			前月比
人口総数		6,246人	-12
内訳	男	3,038人	-5
	女	3,208人	-7
世帯数		2,118世帯	+1

新入学(園)児を守る交通安全週間  
4/4(月)~10(日)  
子どもを交通事故から守りましょう!



「小国支所からのお知らせ」カラー版は、長岡市ホームページでご覧いただけます。http://www.city.nagaoka.niigata.jp/